2021年5月11日

各　位

会社名　　澁澤倉庫株式会社
代表者名　　取締役社長　大隅　毅
（コード番号　９３０４　東証第一部）
問合せ先　　執行役員総合企画部長
浅原邦康
（℡　03-5646-7263）

長期ビジョン「Shibusawa 2030 ビジョン」および新中期経営計画「澁澤倉庫グループ中期経営計画 2023」策定のお知らせ

当社グループは、新型コロナウィルスの感染拡大により、2020年5月に予定していた次期中期経営計画の発表を見送っていましたが、この度、2030年を見据えた長期ビジョン「Shibusawa 2030 ビジョン」、2021年度から2023年度までの中期経営計画「澁澤倉庫グループ中期経営計画2023」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 長期ビジョン「Shibusawa 2030 ビジョン」

(1) 2030年に澁澤倉庫グループが目指す姿：

『お客様の事業活動に新たな価値を生み出すValue Partner』

当社グループは、物流事業と不動産事業を通じて、持続可能で豊かな社会の実現を目指してまいりましたが、2030年を最終年度とする長期ビジョンでは、物流領域にとらわれない、新たなサービス領域の創造により、サプライチェーン全体のイノベーションに取組み、お客さまの事業活動全般に新たな価値を創造してまいります。

(2) 基本方針

① 事業の競争力を強化し、サービス領域を拡大する。
② 創業者の精神、コーポレートスローガン「永続する使命。」を体現する企業を目指す。

(3) 重点施策

① 強みを深化させたカテゴリーNO.1の物流サービスを確立する。
② 物流の枠を超えたアウトソーシングサービスを事業の柱に育てる。
③ スマートで強靭な不動産ポートフォリオを確立する。
④ ステークホルダーとの共存共栄の関係を進化させる。
⑤ 多様な人材が働き甲斐を感じる労働環境、企業風土を確立する。
⑥ 実効性のあるコーポレートガバナンスの確立に取組む。

(4) 2030年度数値目標　（億円）

営業収益	1,000
営業利益	60
経常利益	62

2. 澁澤倉庫グループ中期経営計画 2023

(1) 基本方針

2021 年度から 2023 年度を「Shibusawa 2030 ビジョン」の実現に向けた成長の第 1 ステージと位置づけ、次の基本方針に則った施策を実行します。

① 強みの明確化と競争力強化
物流事業の成長戦略を着実に実行することで、自社の強みを明確にし、競争力のある物流サービスを提供する。

② 採算性の向上
事業環境の変化に合わせコストの削減と適正料金の収受など受注条件の見直しを行い、業務の採算性を向上させる。

③ 業域の拡大、アウトソーシングサービスの布石を打つ
既存の物流サービスの領域にとらわれることなく、将来新たなサービスを創造するための布石を打つ。

④ 不動産事業ポートフォリオの充実
戦略的パートナーシップと物流事業併営メリット追求により、不動産事業ポートフォリオを充実させる。

⑤ ESG への取組の進化
持続的な企業価値向上のため、ESG への取り組みを進化させる。

(2) 業績目標

（百万円）

	2020 年度実績	2023 年度目標	増減
営業収益	65,328	73,000	+7,672 (+11.7%)
営業利益	3,627	4,500	+873 (+24.0%)
経常利益	3,929	4,700	+771 (+19.6%)
営業利益率	5.6%	6.2%	+0.6 ポイント

(3) 株主還元

直近の年間配当 52 円を下限として安定的な増配を継続します。

(4) 投資計画

安定的な財務基盤を維持しつつ、期間中に 150 億円から 200 億円の投資を予定します。
うち、成長投資としては 100 億円から 150 億円を予定します。

(5) コーポレートガバナンス

実効性のあるコーポレートガバナンスの確立に取組みます。

添付資料：Shibusawa 2030 ビジョン、澁澤倉庫グループ中期経営計画 2023

以　上

Shibusawa 2030 ビジョン

澁澤倉庫株式会社
The Shibusawa Warehouse Co.,Ltd.

渋沢史料館所蔵

創業者 渋沢栄一の精神

正しい道理で追求した利益だけが永続し、社会を豊かにできる

Sustainability = 持続的成長

道徳と経済の両立という創業者渋沢栄一の意志を受け継ぎ、
私たち澁澤倉庫は、正しい道理で利益を追求し続け、社会の持続的成長に貢献することを目指します。
お客さま、社員、そして関わるすべての方の未来が豊かであり続けるために、
これからも成長し続けていきます。

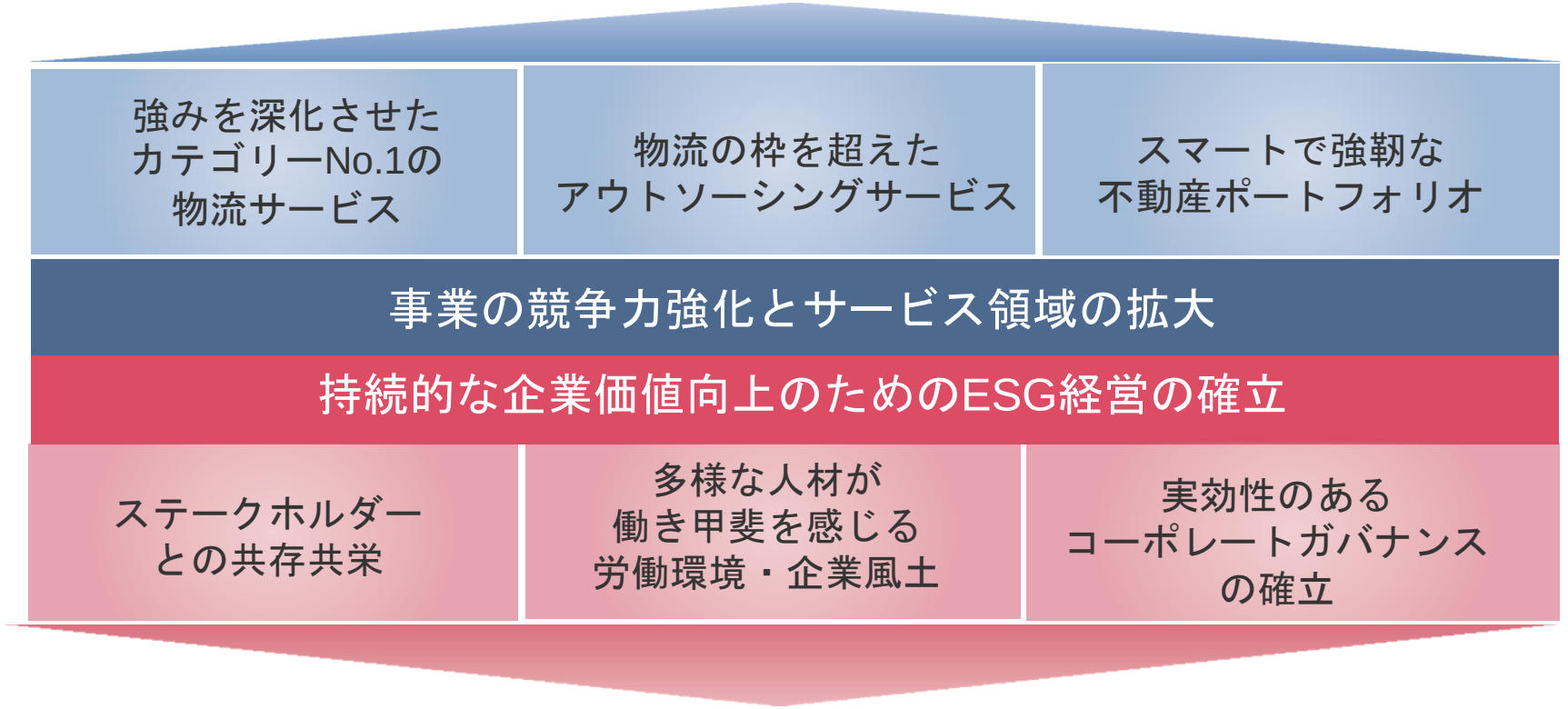
澁澤倉庫グループ ミッション

物流を越えた、新たな価値創造により、
持続可能で豊かな社会の実現を支えること

SDGsに示された社会課題に対しても、
私たちは事業活動を通じてその解決を図り、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを続けていきます。

Shibusawa 2030 ビジョン

お客さまの事業活動に
新たな価値を生み出すValue Partner

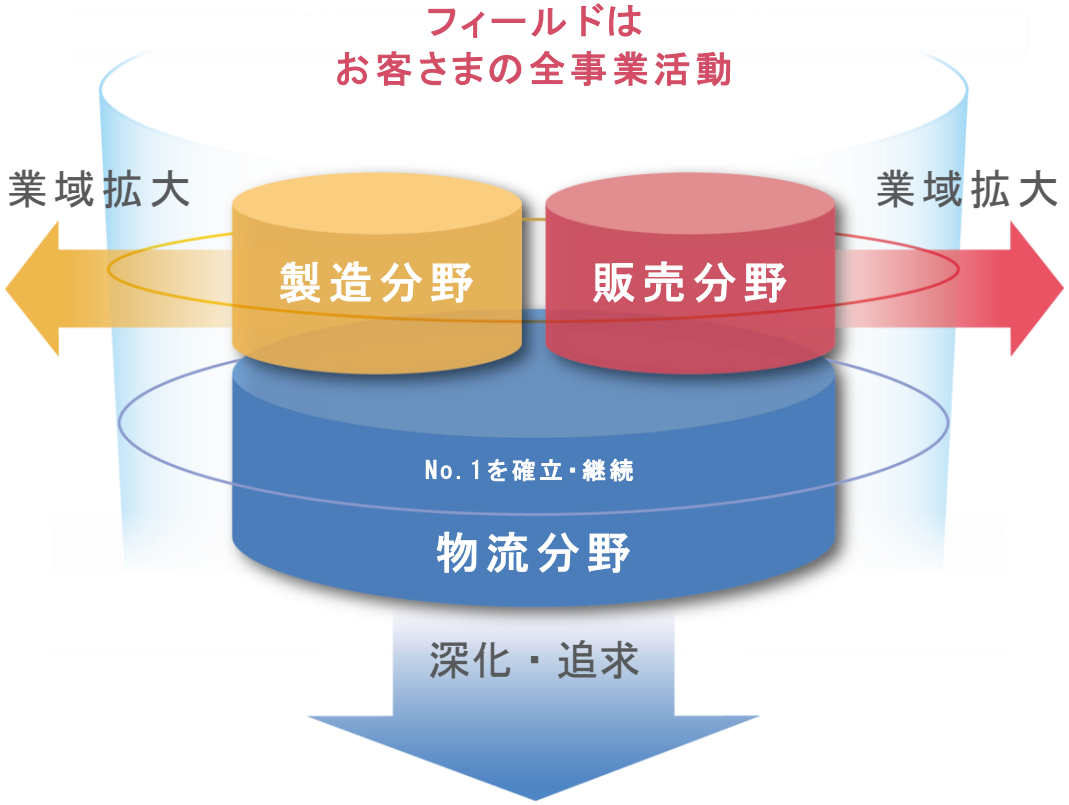


「創業者の精神」、コーポレートスローガン「永続する使命。」を体現する企業

Shibusawa 2030 ビジョン

～2030年に澁澤倉庫グループが目指す姿

お客さまの事業活動に新たな価値を生み出すValue Partner



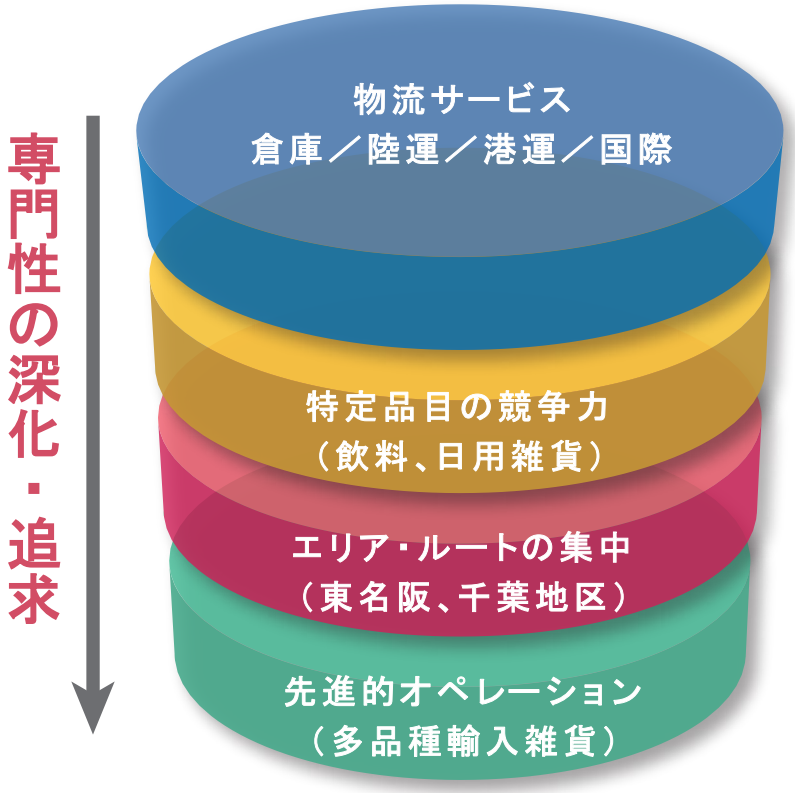
効率追求から価値創造へ

既存の物流事業をさらに深化・追求し、
専門カテゴリーNo.1を確立・継続。
物流領域にとらわれない、
新たなサービス領域の創造。
サプライチェーン全体のイノベーションに取組み、
お客さまの事業活動全般に新たな価値を創造します。

Shibusawa 2030 ビジョン

～2030年に澁澤倉庫グループが目指す姿

物流事業の競争力強化とサービス領域拡大

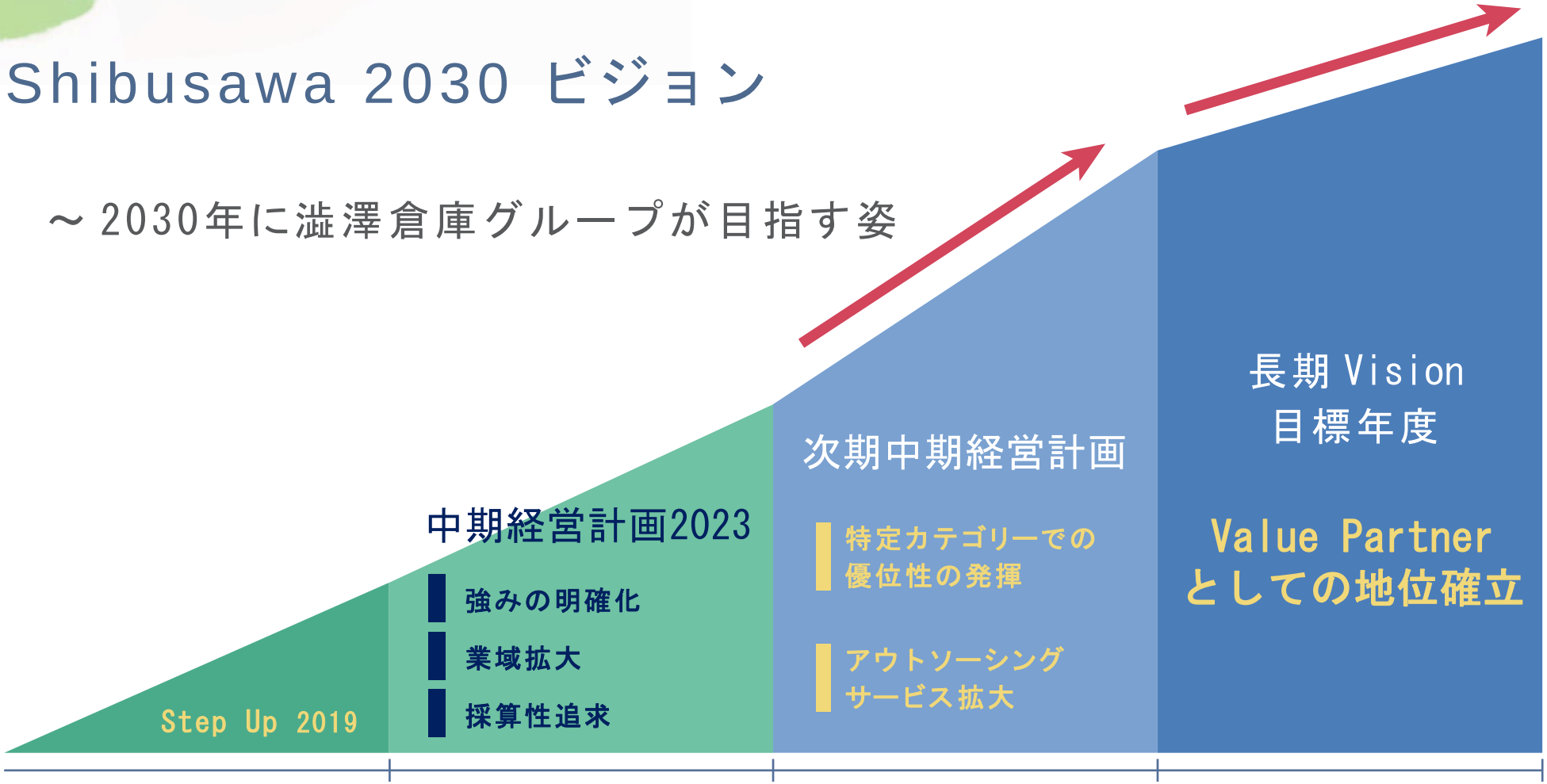


強みを明確にした
オリジナリティの発揮

物流の枠を超えるサービス展開

Shibusawa 2030 ビジョン

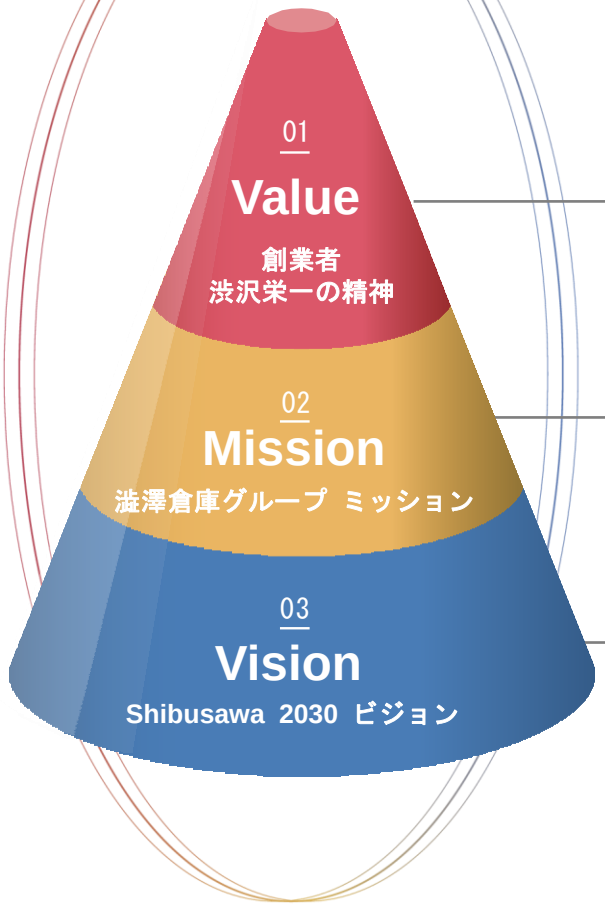
～2030年に澁澤倉庫グループが目指す姿



	実績	実績	目標	目標
年度	2016	2019	2023	2030
営業収益	580億円	668億円	730億円	1,000億円
営業利益	34億円	39億円	45億円	60億円
経常利益	34億円	41億円	47億円	62億円

コーポレートスローガン

「永続する使命。」



01 共有する価値観

正しい道理で追求した利益だけが永続し、社会を豊かにできる

Sustainability = 持続的成長

02 果すべき社会的使命

物流を越えた、新たな価値創造により、持続可能で豊かな社会の実現を支えること

「ミッション実現のためのグループ行動指針」
Challenge・Create・Cooperate
挑戦・創造・共創

03 目標とする明日の姿

お客さまの事業活動に新たな価値を生み出すValue Partner

Value Partner
効率追求から価値創造へ

創業者 渋沢栄一の精神を受け継ぐ、
私たちは、
正しい道理で追求した利益だけが永続し、
社会を豊かにできると考えます。
物流を越えた、新たな価値創造により、
持続可能で豊かな社会の
実現を支えるために。

・Challenge 挑戦
・Create 創造
・Cooperate 共創で、
進化を続けるバリューパートナー、
それが私たち 澁澤倉庫です。

澁澤倉庫株式会社
The Shibusawa Warehouse Co.,Ltd.

澁澤倉庫グループ中期経営計画2023

澁澤倉庫株式会社
The Shibusawa Warehouse Co.,Ltd.

澁澤倉庫グループ中期経営計画2023

期間：2021年度～2023年度

・物流事業の成長戦略を着実に実行することで、自社の強みを明確にし、競争力のある物流サービスを提供する。
・事業環境の変化に合わせコストの削減と適正料金の収受など受注条件の見直しを行い、既存業務の採算性を向上させる。
・既存の物流サービスの領域にとらわれず、将来の新たなサービスを創造するための布石を打つ。
・戦略的パートナーシップと物流事業併営メリット追求により、不動産事業ポートフォリオを充実させる。
・持続的な企業価値向上のため、ESGへの取組みを進化させる。

澁澤倉庫グループ中期経営計画2023

	2020年度 実績	2023年度 目標	2020年度 増減
営業収益	65,328	73,000	＋7,672 （+11.7%）
営業利益	3,627	4,500	＋873 （+24.0%）
経常利益	3,929	4,700	＋771 （+19.6%）
営業利益率	5.6%	6.2%	（＋0.6pt）

（百万円）

株主還元

直近の年間配当52円を
下限として安定的な増配を継続

投資計画

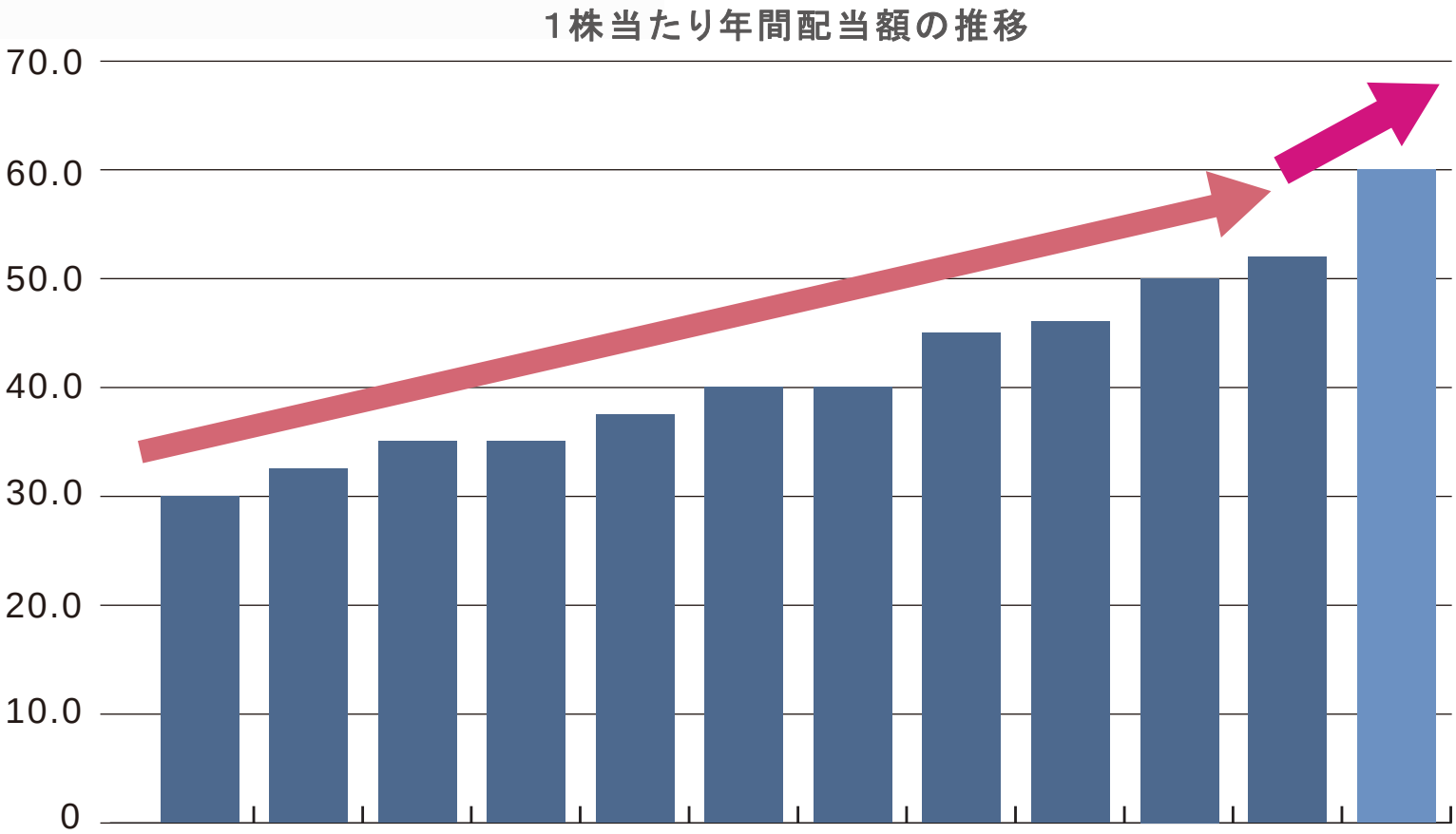
安定的な財務基盤を維持しつつ、
期間中に150億円～200億円の
投資を予定
（成長投資として100億円から150億円）

コーポレートガバナンス

実効性のあるコーポレートガバナンスの確立

当社の戦略に合致するM&Aは積極的に推進
（経営成績目標にはM&Aによる効果は含んでいません）

澁澤倉庫グループ中期経営計画2023



年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021（予想）
年間配当金（円／株）	30.0	32.5	35.0	35.0	37.5	40.0	40.0	45.0	46.0	50.0	52.0	**60.0**

※ 当社は、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株に併合しております。
グラフおよび表においては、2017年度以前の配当金についても当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

澁澤倉庫グループ中期経営計画2023

物流事業の成長戦略

専門性の追求

デジタル化
機械化

業域の拡大

✔ 強みの明確化

✔ 競争力強化

✔ 収益機会の多様化

収益・利益の拡大

具体的な施策

専門性の追求

・多品種少量貨物の効率的運営モデル
・戦略的優位性のあるエリアでの拠点拡充
　によるドミナント効果
・消費財物流における専門性の発揮

デジタル化・機械化

・マンパワーとオートメーションを融合した、
　波動を吸収できる効率的運営モデル
・車両、配車データのデジタル化による運行
　効率の向上
・AI/RPAの導入による業務効率化

業域の拡大

・海外現地物流の拡大
・貿易事務、受注代行などの
　アウトソーシングサービスの拡大

澁澤倉庫グループ中期経営計画2023

物流事業の成長戦略

専門性の追求　～多品種少量貨物の効率的運営モデル

データの活用・分析

- アイテム／ロット当たり在庫量
- 在庫波動、最大／最小在庫量
- アイテム当たり入出荷数量
- 季節／曜日等による出荷波動
- 在庫回転率
- 消費財物流における専門性の発揮

保管形態バリエーション

- 固定パレットラック
- 移動パレットラック
- プッシュバックラック
- ピッキングラック
- 台車保管

作業形態バリエーション

- シングルピッキング
- トータルピッキング
- ピッキングカート
- ソーター／仕分け機
- AGV（無人搬送機）

物流センター（DC）設計能力

貨物特性、数量、荷動きに応じた

- 最適な保管形態、作業形態の組み合わせ
- 作業効率を低減させない保管レイアウト
- 作業効率を高める貨物配置と作業導線

保管効率と作業効率を最大限高めたDCオペレーション

澁澤倉庫グループ中期経営計画2023

物流事業の成長戦略

機械化　～波動に耐えうるマンパワーとオートメーションの融合

フルオートメーション
AGV（無人搬送機）による仕分け

セミオートメーション
GAS（ゲートアソートシステム）による仕分け

マニュアル作業

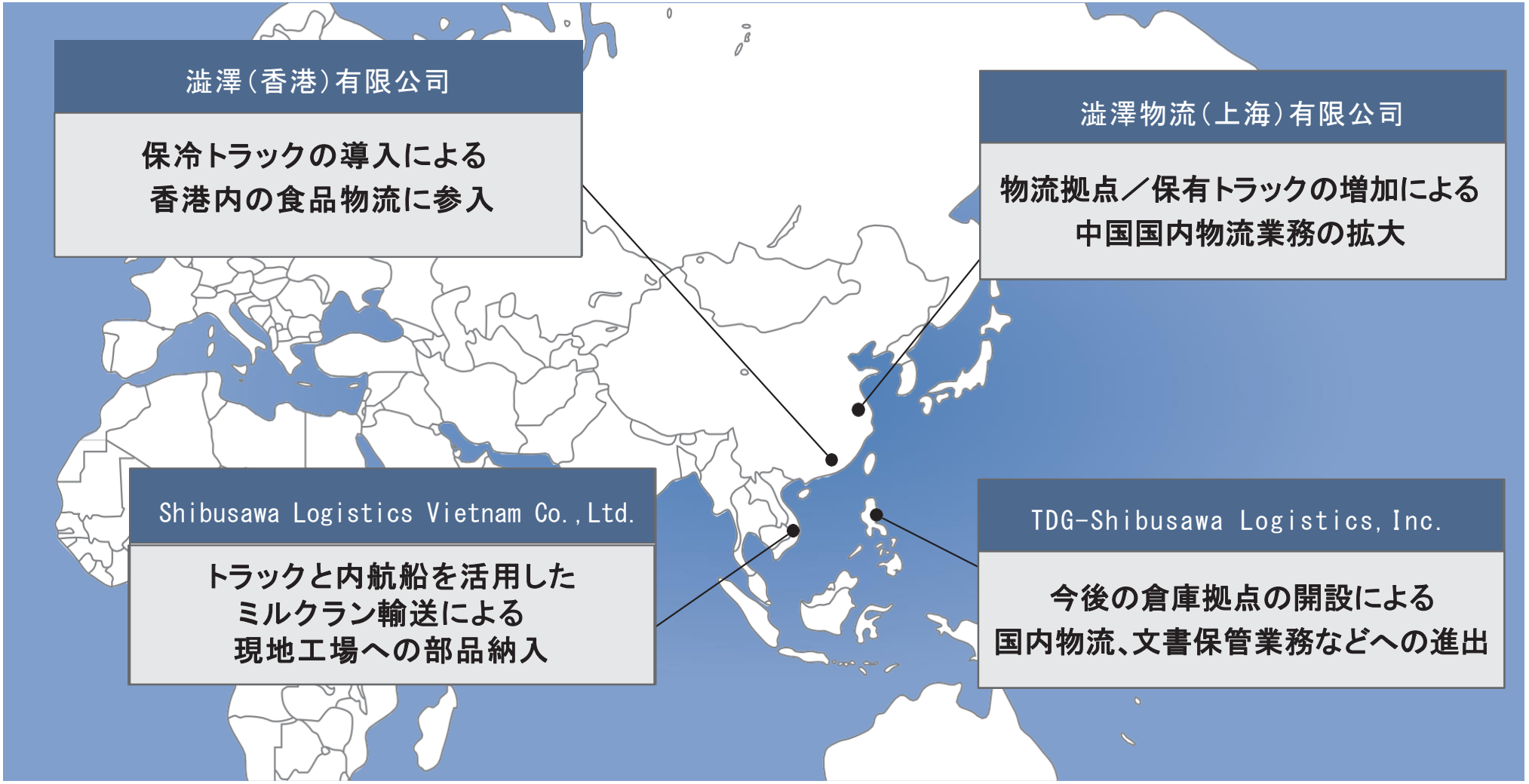
マニュアル作業とオートメーションを並列で処理できる仕組みを構築

⇒機械のキャパシティに制限されない柔軟な波動対応力

澁澤倉庫グループ中期経営計画2023

物流事業の成長戦略

業域の拡大　～海外現地物流の拡大



澁澤倉庫グループ中期経営計画2023

企業価値向上のためのESGへの取組み

グループミッション：物流を超えた新たな価値創造により、持続可能で豊かな社会の実現を支えること

コーポーレートスローガン「永続する使命。」に込めた創業者の精神を体現する企業に

Environment 環境

【CO2排出削減につながる物流サービス】

- モーダルシフトの推進
- リサイクル物流の促進
- サプライチェーン全体の最適化

【自社の事業活動におけるCO2削減】

- 倉庫／ビル照明のLED化
- 再生可能エネルギーの導入
- 環境配慮車両の導入

Social 社会

【働き甲斐のある労働環境】

- ダイバーシティ／人権の尊重
- 安全の確保／労働環境改善
- 機械化／自動化による労働負荷軽減

【地域社会に対する貢献】

- 災害備蓄品の取扱い
- 学生への物流見学会
- 地域の清掃/交通安全活動参加

Governance 企業統治

【持続的成長のための仕組み】

- コンプライアンスの徹底
- 内部統制システムの効果的運営
- コーポレートガバナンス方針

【教育、情報開示、他】

- Value、Missionの浸透
- 適切な情報開示、IR／SR
- リスクマネジメント／BCP

創業者 渋沢栄一の精神を受け継ぐ、
私たちは、
正しい道理で追求した利益だけが永続し、
社会を豊かにできると考えます。
物流を越えた、新たな価値創造により、
持続可能で豊かな社会の
実現を支えるために。

・Challenge 挑戦
・Create 創造
・Cooperate 共創で、
進化を続けるバリューパートナー、
それが私たち 澁澤倉庫です。

澁澤倉庫株式会社
The Shibusawa Warehouse Co.,Ltd.